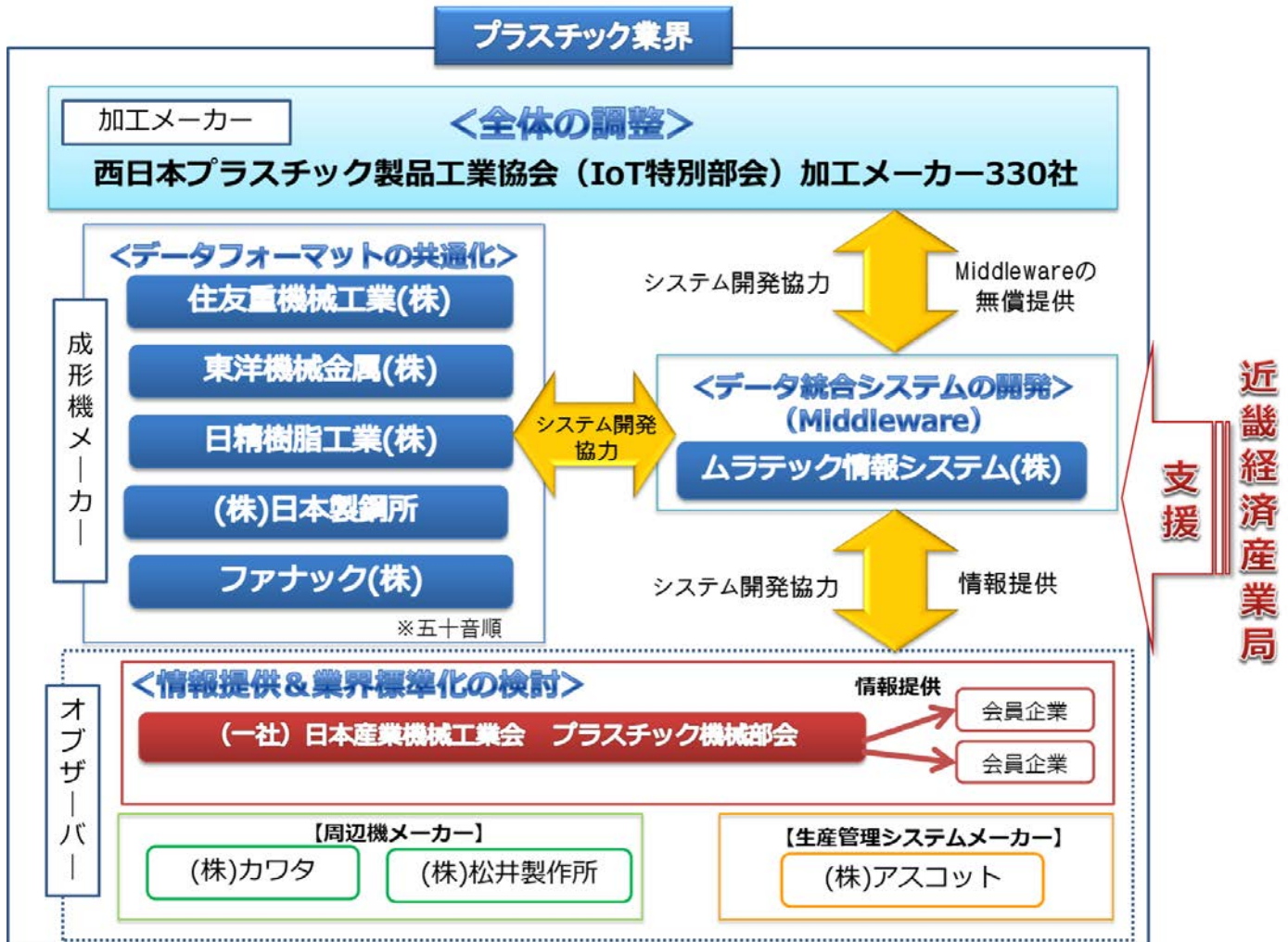


平成28年6月15日

プラスチック業界が一丸となった初のIoTシステム導入を推進します！

近畿経済産業局は、(一社)西日本プラスチック製品工業協会、ムラテック情報システム(株)の3者により、国内主要成形機メーカー5社、(一社)日本産業機械工業会、周辺機メーカー2社などの横断的な参加のもと、プラスチック成形機からのデータフォーマットの共通化及びシステムのオープン化によるビッグデータ活用の基盤構築を通じて、プラスチック業界が一丸となった初のIoTシステム導入を推進します。

1. プラスチック業界におけるデータフォーマットの共通化及びシステムオープン化実証事業
 プラスチック加工メーカーは複数のメーカーの成形機を用いて製造しており、高精度な製品の製造には、成形条件情報等の把握、収集、活用が重要となりますが、成形機からのデータフォーマットがメーカー毎に異なるため、加工メーカーでは情報を統合して一括管理できない状況にあります。
 このため、平成28年度「IoT推進のための社会システム推進事業」を活用し、当局、(一社)西日本プラスチック製品工業協会、ムラテック情報システム(株)の3者により、関連機関の横断的な参加のもと、グローバル基準の規格に合わせたデータフォーマットの共通化とそのデータ統合システム(MiddleWare)の開発、システムの無償提供による普及を図り、プラスチック業界全体のIoT化を推進します。



2. 本事業実施による波及効果

本事業を実施することより、加工メーカー、成形機メーカー、他のものづくり業界において、以下のような波及効果が期待出来ます。

① 加工メーカーへの効果

ビッグデータの活用による生産性向上、高付加価値製品の開発、省人化、トラブルの予知保全、最新電動機への新規投資の加速化、省エネ化

② 成形機メーカーへの効果

ビッグデータを活用した予知保全等サービスの向上、次世代機の開発による成形機の高付加価値化（台頭する中国製品との差別化）、ヨーロッパ、アメリカ等市場参入の加速化

本モデル事業を「たたき台」とした将来的な業界標準化の検討、次世代グローバル基準への日本の業界対応の検討

③ 他のものづくり業界への効果

プラスチック業界と同様に機器からのビッグデータの活用が遅れている他業界（例：ゴム業界、工作機械関連業界、ロボット業界等）での情報共通化、ビッグデータ活用の波及



(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 製造産業課 課長：坂本

担当者：日村、谷川

電話：06-6966-6022